

# 『福井県公営企業経営戦略』改定の概要(令和8年度～令和17年度)

## 第1章 改定の趣旨

■ 公営企業のサービスを持続していくため、課題に対する取組みとその投資・財政計画を柱として、**中期的な実施計画の見直し**を行う(10年間)

## 第2章 現状と課題

- (1) 人口減少等に伴う需要量の減少
- (2) 施設の老朽化による更新需要の増大
- (3) 激甚化する災害への対応
- (4) 産業基盤の整備
- (5) 物価の高騰 (6) 人材の確保

工業用水		水道用水		下水道	造成
第一工水	臨海工水	坂井地区	日野川地区	臨海下水道	(産業用地)
鯖江市東部工業団地等	テクノポート福井 福井市二日市工場適地	あわら市、坂井市	越前市、鯖江市、福井市、 南越前町、越前町	テクノポート福井	テクノポート福井
供給先 9社	51社	2市	3市2町	受入 101社	764ha、75社
昭和50年～	昭和53年～	昭和63年～	平成18年～	平成5年～	昭和47年～

## 第3章 経営の基本方針

### 基本方針

### 実施施策

### 主な取組み

### 1 強靱な水道

- ①施設・管路の老朽化対策
- ②施設・管路の耐震化
- ③災害対策
- ④適切な保守点検
- ⑤GXの推進

- ・老朽施設・設備の更新(全事業)
- ・施設の耐震化(臨海工水、坂井水道)、管路の更新(第一工水、坂井水道)
- ・土砂災害対策、洪水対策、停電対策、災害応援協定、危機管理訓練
- ・土木工作物、電気・機械設備、地下埋設物、水管橋の点検
- ・省エネルギー機器導入の推進、汚泥の有効利用

### 2 産業基盤の整備

- ①テクノポート福井産業用地の拡充

- ・テクノポート産業用地の造成(2期、3期)、未利用地の活用

### 3 経営基盤の強化

- ①アセットマネジメント
- ②適切な料金
- ③健全な経営

- ・需要量の調査、需要に応じた施設整備、投資・財政計画
- ・アセットマネジメントと物価高騰を反映した料金改定
- ・経費抑制と収益確保、広域化・官民連携の情報収集

### 4 人材の確保

- ①人員の確保、技術の継承
- ②DXの推進

- ・職員採用対策、訓練・研修の充実、各マニュアルの更新(運転、保守、水質、危機管理)
- ・管路のデジタル情報化、点検・管理のスマート化(タブレット活用等)、クラウド監視の推進



施設の耐震化



管路の更新



テクノポート産業用地の造成

## 第4章 投資・財政計画

### 投資計画

老朽施設・設備の着実な更新  
施設・管路の耐震化の推進

#### 老朽化対策

	R8～17	主なもの
第一工水	11.6 億円	取水場電気設備、汚泥脱水設備、中央監視設備
臨海工水	21.0 億円	沈殿池設備、江上監視制御設備
坂井水道	43.6 億円	排水処理設備、自家発電設備、中央監視設備
日野川水道	84.4 億円	膜ろ過設備、薬品注入設備、中央監視設備
臨海下水道	69.1 億円	活性炭吸着塔、中央監視設備

#### 耐震化(施設)

	R8～17	主なもの
第一工水	-	-
臨海工水	23.6 億円	沈殿池、着水井、九頭竜水管橋
坂井水道	9.8 億円	取水施設、排水処理施設
日野川水道	-	-
臨海下水道	3.5 億円	管理棟、放流渠

#### 耐震化(管路)

	R8～17	主なもの
第一工水	22.2 億円	送水管更新(設計、工事)
臨海工水	-	-
坂井水道	12.6 億円	送水管更新(設計、工事)
日野川水道	-	-
臨海下水道	-	-

### 財政計画

更新費用・物価上昇等の的確な反映、経営の効率化、料金収入の確保 ⇒ 収支均衡を図り、**持続可能なサービス提供**

